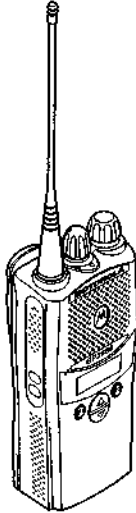




一般業務／複数波簡易無線対応 携帯型無線機 GP3688 取扱説明書



はじめに

このたびはモトローラの携帯型無線機「GP3688」をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

本書はGP3688の標準的な操作方法について説明した取扱説明書です。ご使用前に必ずお読みください。

●ご注意

- ・通話は、無線局免許状に記載されている目的、通信の相手方および通信事項の範囲内で行ってください。ただし、人命の救助、洪水、火災などの災害時に、人命にかかわる通信を行なうときはこのような制限はありません。
- ・他人から頼まれて通信したり、他人の用件のために無線機を貸して使用することは電波法令で禁じられています。
- ・他人の通話を聞いて、これを漏らしたり悪用することは電波法令で禁じられています。
- ・本機は電波法令で定められた技術基準に適合（合格）していますので、分解や改造は電波法令で禁じられています。

●本文中のマークの意味は次のようになっています。

	危険	この表示は「人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容」を示しています。
	警告	この表示は「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。
	注意	この表示は「人が障害を負う可能性が想定される内容や物的損害の発生が想定される内容」を示しています。
	お願い	性能を十分発揮できるように、お守りいただきたい事項です。

コンピュータソフトウェア著作権

本書に掲載のモトローラ社製品は、著作権で保護されたモトローラ社コンピュータプログラムを、半導体メモリまたは他の媒体に搭載し、内蔵している場合があります。これらのコンピュータプログラムに関して、いかなる形式による複製・再生を含む（ただし、これらに限定されない）モトローラ社の排他的権利は、アメリカ合衆国および他の国の法律によって留保されています。モトローラ社の文書による許可なく、本書に掲載中のモトローラ社製品に含まれる、著作権で保護されたモトローラ社コンピュータプログラムの複製、再生、改作、リバースエンジニアリング、配布は、形式を問わず禁止されています。また、モトローラ社製品の販売において、法律により発生する通常の非排他的使用を除いて、明示的に、暗黙に、禁反言によるものその他を問わず、著作権、特許、または特許出願のいかなる使用も許諾されていません。

© Motorola Inc., 2010

MOTOROLA およびM形状のロゴは、アメリカ合衆国特許および登録商標庁に登録されています。その他すべての製品またはサービス名はそれぞれの所有者に帰属しています。

安全上のご注意

製品安全性およびRF（高周波）エネルギー照射の適合



この無線機の使用は、アメリカ連邦通信委員会（FCC）の定めるRF（高周波）エネルギー照射の基準を満たす業務目的に限られています。この無線機をご使用になる前に、製品安全性およびRF（高周波）の照射に関する添付冊子に記載されているRF（高周波）エネルギー認知情報および操作説明を必ずお読みください。

モトローラ承認済みのアンテナ、バッテリー、およびその他のアクセサリについては、承認済みアクセサリを掲載している次の英文ウェブサイト参照してください。

<http://www.motorola.com/governmentandenterprise>

目次

●はじめに	
●安全上のご注意	
●製品および付属品の確認	6

準備編

●各部の名称と機能	10
○電源/ボリュームスイッチ	11
○チャンネル切替スイッチ	11
○送信 (PTT) ボタン	11
○マイクロホン	11
○LEDインジケータ	11
○インジケータートーン	13
○バッテリー残量の表示	15
○表示部	16
○プログラムボタンの種類	17
○メニューボタン	18
○メニューナビゲーションチャート	20
●付属品の取り付け/取り外し	22
○バッテリーを取り付ける	22
○バッテリーを取り外す	23
○アンテナを取り付ける	24
○アンテナを取り外す	24
○ベルトクリップを取り付ける	25
○ベルトクリップを取り外す	26
●バッテリーの充電について	27
●電源を入れる/切る	29
●受信音声スピーカ出力を調整する	30
●チャンネルを切替える	30

操作編

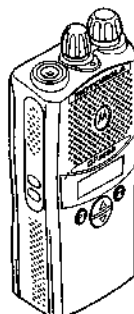
●送信する	32
●受信する	33
●モニター操作を行なう	34
●ホーム復帰メモリーチャンネルを起動する	35
●メモリーチャンネルを設定する	35
●VOX機能を使う	36
○VOXヘッドセットを接続する	36
○ヘッドセットフィードバックトーンを有効または無効にする	37
・VOXヘッドセット	37
・インラインPTT付きヘッドセットを接続する (VOX機能なし)	38
●キーパットのロックとロック解除	38
●無線機の各種呼出し 一般	39
○個別呼び出しを受信する	39
○個別呼び出しを送信する	39
○鳴音呼び出しを受信する	41
○鳴音呼び出しを送信する	41
●無線機の各種呼出し (簡易グループコードを使用)	43
○個別呼び出しを受信する	43
○一斉呼び出しを受信する	43
○鳴音呼び出しを受信する	44
●スキャンを使う	45
○応答する	45
○システムスキャンを開始する	46
○システムスキャンを停止する	47
○オートスキャンを開始する	48
○オートスキャンを停止する	48

製品および付属品の確認

はじめに無線機本体と付属品を確認してください。

○不要チャンネルを削除する	48
○削除したチャンネルをスキャンリストに戻す	49
○スキャンリストを編集する	50
・チャンネルを追加または削除する	50
・チャンネルに優先順位を設定する	53
●アラートトーンを設定する	56
○アラートトーンのオン/オフ	58
○キーパッドトーンのオン/オフ	59
○アラートトーンの指定	60
○エスカレートアラートを使う	62
●ユーザー設定を行なう	63
○スケルチレベルを設定する	64
○出力レベルを設定する	66
○バックライトのオン/オフを設定する	68
○ソフトウェアバージョンを表示する	69
●音声品質向上機能	70
●アフターサービスについて	71

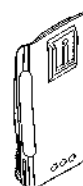
●無線機本体



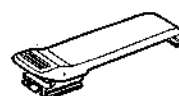
●アンテナ



●バッテリー



●ベルトクリップ

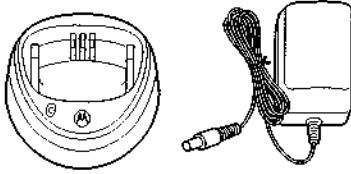


注 取扱説明書中に、下記の**一般**または**簡易**表示がされている場合、その機能および操作はこの表示の種類の無線機に限定されます。

一般：一般業務用無線機の場合に限られます。

簡易：簡易業務用無線機の場合に限られます。

●充電器



●取扱説明書（本書）

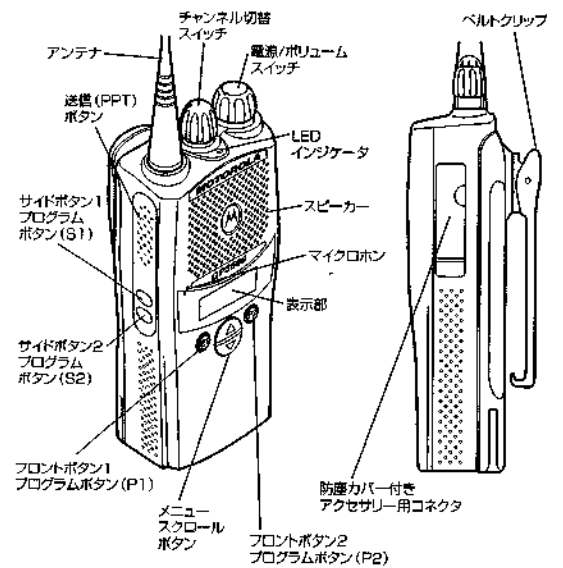


7

8

準備編

各部の名称と機能



10

電源/ボリュームスイッチ

無線機の電源オン/オフおよびスピーカボリュームの調整を行います。

チャンネル切替スイッチ

チャンネルの切替えを行います。

送信(PTT)ボタン

このボタンを押しながら送信し、ボタンから指を離して相手の話を聞きます。

マイクロホン

送信するとき、マイクロホンを口から2.5cm～5cm離して構え、はっきりと話しかけてください。

LEDインジケータ

LEDインジケータは、電源オン、送信、受信、スキャン、簡音呼出し、個別呼出しおよびバッテリー残量を表示します。

LEDインジケータ

LED状態/色	表 示
無線機呼出し	
赤点灯	送信中
赤点滅	受信中
赤点滅	ビジー
スキャン (一瞬)	
緑点滅	スキャン中
簡音呼出し	
黄点滅	簡音呼出し受信表示
黄点灯	簡音呼出し送信表示
個別呼出し	
黄点滅	個別呼出し受信表示
黄点灯	個別呼出し送信表示
モニター/スケルチ機能	
黄点灯	モニター中
バッテリー残量	
送信中に赤点滅	バッテリー残量低下

インジケータートーン

ハイピッチトーン (ビッ) □ ローピッチトーン (ブー) ■

□ □	セルフテスト正常 (ビッ)
■ ■	セルフテスト異常 (ブー)
□ □	ポジティブ インジケータートーン (ビッ)
□	ネガティブ インジケータートーン (ビッ)
□	キー操作正常 (ビッ)
■	キー操作異常 (ブッ)

プログラムボタンのオーディオインジケータ

プログラム ボタン	ポジティブ インジケータートーン	ネガティブ インジケータートーン
スキャン	スキャン開始	スキャン停止
出力レベル	ハイパワー	ローパワー
スケルチ	激い	標準
VOX機能	VOX機能はオン	VOX機能はオフ
モニター/オープン スケルチ	—	スケルチ解除オン
ホーム復帰メモリ チャンネル (1&2)	—	ホーム復帰メモリ チャンネルはオン
メモリ チャンネル (1&2)	—	登録
メニューモード ②	—	メニューモードオン
個別呼出し	—	呼出しモードオン
スキャンリストの 編集	—	編集モードオン
エスカレートアラート	エスカレートアラート はオン	エスカレートアラート はオフ

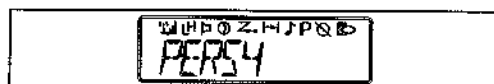
バッテリー残量の表示

お買い求めの販売店でプログラムボタンのひとつをバッテリーインジケータ用に設定することによって、バッテリー残量が確認できます。設定されたバッテリーインジケータボタンを押したままにすると、バッテリー残量が表示されます。

バッテリー残量	表示
フル	
十分	
低下	
非常に低下	

15

表示部



上の行はメニューと無線機の状態を表示します。

記号	表示
	縦棒の数が多いほど、無線機の受信信号が強いことを示します。 (電波を受信している時のみ表示されます。)
	ローパワー (L) またはハイパワー (H) で作動中です。
	選択されたチャンネルはモニター中です。
	スキャンが起動中です。
	スキャンが終了し、優先順位1の有効なチャンネルへ切り換えたことを示します。
	スキャンが終了し、優先順位2の有効なチャンネルへ切り換えたことを示します。
	個別呼出しまたは鳴響呼出しを受信しました。
	キーパッドはロックされています。

16

プログラムボタンの種類

無線機には4つのプログラムボタンがあります。お買い求めの販売店でこれらのボタンに各種機能のショートカットを設定することができます。ご使用の無線機が対応している機能については、お買い求めの販売店にご確認ください。

プログラムボタンには、以下のものがあります。

- ・2つのサイドボタン (S1とS2)
- ・2つのフロントボタン (ⓂとⓅ)

ボタンの押し方に応じて、これらのボタンは2種類の機能を選択できます。

- ・短押し
プログラムボタンを短時間押す操作
- ・長押し
プログラムボタンを2.5秒以上押したままの状態にする操作
- ・ホールド
状態確認または調整をおこなう間、プログラムボタンを押したままの状態にする操作

プログラムボタンの機能

ボタン	インジケータ	短押し	長押し	ホールド
バッテリーインジケータ		—	—	バッテリー残量を確認します。
メニューモード	—	Ⓜボタンでメニューモードに入ってメニューを選択します。 Ⓟボタンは自動的にメニューモード停止ボタンに設定されます。*	—	—
ボリューム設定	—	—	—	無線機のボリュームを調整するためのトーンを出力します。

* ボタンの短押しまたは長押しのどちらでもこの機能を起動することができます。

17

ボタン	インジケータ	短押し	長押し	ホールド
モニター		a) オープンスケルチモード スケルチをオン/オフします。 b) サイレントモード モニターをオン/オフします。	スケルチ解除を保持します。 モニター解除を保持します。	スケルチを解除します。
ホーム復帰メモリチャンネル (1&2)	—	ダイレクトにメモリチャンネルへ復帰します。	—	—
メモリチャンネル (1&2)	—	—	現在のチャンネルを記憶します。	—
VOX機能 (音声による送受操作)	—	VOX機能のオンとオフを切り換えます。*	—	—
キーパッドロック/ロック解除		—	キーパッドをロックまたはロック解除します。	—
個別呼出し	—	個別呼出しメニューへダイレクトにアクセスします。*	—	—
スキャン/不要チャンネルの削除		スキャンのオンとオフを切り換えます。	スキャンしながら不要チャンネルを削除します。	—
スキャンリストの編集	—	チャンネルの追加、削除または優先順位の設定をおこないます。*	—	—
エスカレートアラート	—	エスカレートアラートのオンとオフを切り換えます。*	—	—
スケルチ	—	スケルチレベルを深いレベルまたは標準レベルに切り換えます。*	—	—
出力レベル		ハイパワーとローパワーを切り換えます。*	—	—
ライト	—	キーパッドおよび表示部のバックライトのオンとオフを切り換えます。*	—	—

* ボタンの短押しまたは長押しのどちらでもこの機能を起動することができます。

18

メニューボタン

お買い求めの販売店で、プログラム機能に加えて、メニューモードの起動とメニュー選択(②)およびメニューモードの停止(③)を無線機前面のボタン(①と②)に設定することが出来ます。
メニューモードの起動には、②ボタンの短押しまたは長押しのどちらも設定できます。

メニュースクロールボタン

メニューのスクロールに使用します。

② ボタンで選択できる機能については、次頁に掲載されているメニューナビゲーションチャートを参照してください。

メニュー内を移動する

① または ② ボタンを使ってメニューをスクロールします。最後の項目を通り過ぎると、先頭の項目に戻ってスクロールします。
必要な項目の位置に来たとき、② ボタンの短押しで項目を選択してサブメニューに入ります。

① または ② ボタンを使ってサブメニューをスクロールし、② ボタンの短押しで項目を選択します。

メニューを終了する

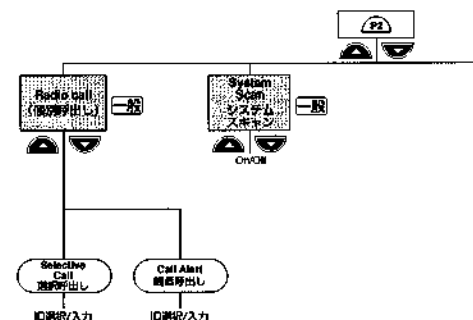
メニューモード動作中、③ ボタンは自動的にメニューモード停止ボタンになります。③ ボタンを長押しすると、メニューモードを完全に終了させることができます。また③ ボタンを連続して短押しすると、サブメニューを終了します。

ナビゲーションボタンから入力しないまま一定の待ち時間が経過した場合や、選択した後に何も入力しなかった場合に、無線機はメニューモードを終了します。

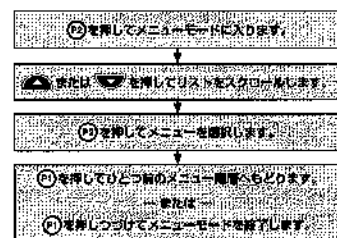
メニューモードを終了すると、①と②ボタンは通常の設定状態に戻ります。

メニューナビゲーションチャート

(ページ左下のメニューナビゲーションガイドラインを参照してください)



メニューナビゲーション

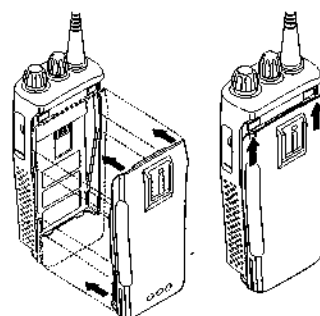


19

20

付属品の取り付け/取り外し

バッテリーを取り付ける

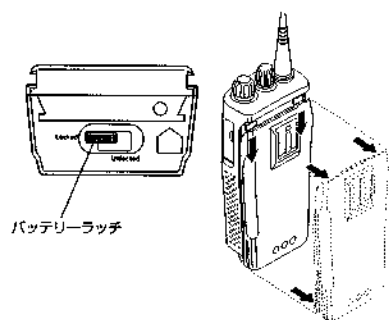


- ① バッテリーラッチがロックされていないことを確認します。バッテリーを装着するまえにバッテリーラッチのロックを解除してください。無線機背面のバッテリーレール（無線機の先端から約1.3センチの位置）にバッテリーを合わせます。
- ② 無線機にバッテリーをしっかりと押し込んで、ラッチのスナップがはまるまで上方向にスライドさせます。
- ③ 無線機の底面にあるバッテリーラッチをロックの位置にスライドさせます。

21

22

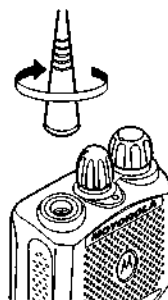
バッテリーを取り外す



- ① 無線機の電源がオンになっている場合はそれをオフします。
- ② バッテリーラッチをロック解除の位置にスライドさせます。無線機の前面に向かってラッチを押し下げながら外します。
- ③ バッテリーラッチが外れたら、バッテリーを無線機の先端から約1.3センチ下の位置までスライドさせます。レールから外れたバッテリーを無線機から取り外します。

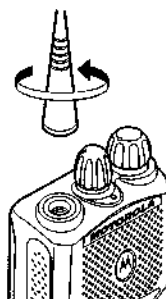
23

アンテナを取り付ける



アンテナを時計方向に回しながら取り付けます。

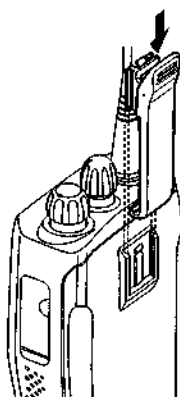
アンテナを取り外す



アンテナを反時計方向に回しながら外します。

24

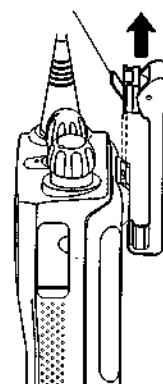
ベルトクリップを取り付ける



- ① ベルトクリップの溝をバッテリーの溝に合わせます。
- ② ベルトクリップをカチッと音が聞こえるまで押し下げます。

25

ベルトクリップを取り外す



- ① ベルトクリップのタブを押しながらバッテリーのロックを解除します。
- ② ベルトクリップを上方向にスライドさせて外します。

26

バッテリーの充電について

新品または残量が非常に低下しているバッテリーをご使用になるまえに、かならず充電をおこなってください。バッテリー残量が低下している場合や、無線機が送信モードにある間、赤色のLEDが点滅します。送信(PTT)ボタンを離すと、アラートトーンが聞こえます。

- ⑧ バッテリーは工場出荷時には充電されていません。充電器の表示状態にかかわらず、初めてご使用になるまえに、14時間から16時間充電をおこなってください。

バッテリーを充電するには

- ① 無線機の電源をオフします。
- ② バッテリーを(無線機に接続した状態または単独で)充電器のポケットに入れてください。

充電器のLED表示で充電状態を確認することができます。

充電器のLED表示

LED表示色	状態
LED表示なし	a) バッテリーが正しく挿入されていないまたは検出できない
緑点滅	充電器電源オン
赤点滅	b) バッテリーが充電不能または接触不良。
赤点灯	充電中
黄点滅	充電待ち状態。温度が不適切(高すぎまたは低すぎ)、または電圧が設定された充電電圧値を満たしていないことが考えられる。
緑点滅	c) 90%以上充電完了。
緑点灯	フル充電

- a) 充電器の充電端子にバッテリーが適切に接触できるように、バッテリーのレールアダプタが正しく挿入されているかどうかを確認してください。
b) バッテリーを充電器から取り外して、背面にある3つのメタル端子を湿しゴムできれいにしてから、充電器に戻してください。赤色のLEDが点滅しつづける場合は、バッテリーを交換してください。
c) 標準的なバッテリーが90%充電にかかる充電時間は約90分です。

バッテリー持続時間

バッテリー種類	リチウムイオン電池 (1600mAh)	リチウムイオン電池 (2250mAh)	ニッケル水素電池 (1100mAh)	ニッケル水素電池 (1400mAh)
持続時間 (ハイパワー)	12時間	16時間	8時間	10時間
持続時間 (ローパワー)	17時間	24時間	10時間	13時間

- ・バッテリーの持続時間については実際の使用状況によって変化します。
・上表の持続時間は、使用時間を(送信5:受信中:待ち受け90)の割合で、バックライトをOFFの状態での持続時間となります。

27

28

電源を入れる/切る



オン	オフ
電源/ボリュームスイッチを時計方向に回します。正常に立ち上げればセルフテスト(ビープ)が出力され、表示部のアイコンが一瞬点灯し、緑のLEDが点滅します。立ち上がり時に不良が発見された場合は、セルフテストフェイルトーン(ブザー)が出力されます。再度電源を入れ直してください。	電源/ボリュームスイッチを反時計方向にカチッとクリック音がするまで回します。クリック音がするまで回すとLEDおよび表示器が消灯します。

受信音声スピーカ出力を調整する

電源/ボリュームスイッチを時計方向に回すとスピーカ出力が大きくなります。
電源/ボリュームスイッチを反時計方向に回すとスピーカ出力は小さくなります。

—または—

- ⑧ お買い求めの販売店で、プログラムボタンのうちひとつのボタンを出力調整用に設定することができます。

- ① ボリューム設定ボタンを押したままにします。
・連続トーンが聞こえます。
- ② 電源/ボリュームスイッチを回して希望のボリューム位置に調整します。
- ③ ボリューム設定ボタンを離します。

チャンネルを切替える

ご使用の無線機は、最大35チャンネルまで設定することができます。
チャンネル切替スイッチを時計方向または反時計方向に回して、希望のチャンネルに設定します。

29

30

操作編

受信する

- ① 無線機の電源をオンします。
- ② 無線機のボリュームを適切な位置に設定します。
- ③ 希望のチャンネルに切替えます。
応答する場合、無線機を垂直に構えてマイクロホンから2.5～5cm離します。送信（PTT）ボタンを押し応答します。または送信（PTT）ボタンを離し受信音声を聞きます。

送信する

- ① 無線機の電源をオンします。
- ② チャンネル切替スイッチを使って希望のチャンネルに切替えます。
（注意） 送信操作をおこなう前に使用するチャンネルが通信中でないことを確認する必要があります。
- ③ 無線機を垂直に構えてマイクロホンから2.5～5cm離します。送信（PTT）ボタンを押して通話します。
・ 送信している間、赤のLEDが点灯します。
- ④ 送信（PTT）ボタンを離して相手からの応答を聞きます。

モニター操作を行なう

送信操作をおこなう前、相手側無線機が通信中でないことを確認する必要があります。

サイレントモニター

- ① モニター用に設定されたプログラムボタンを押したままにして、チャンネルの空を確認します。
・ この場合、スピーカより雑音は出力されません。
- ② チャンネルが空いている事を確認し、送信（PTT）ボタンを押して送信してください。
- ③ モニターボタンを長押しすると、無線機のスケルチは解除されます。
・ この場合、スピーカより雑音は出力されません。
・ ハイピッチトーンが聞こえます。
モニターボタンを短押しすると、モニターモードは解除され、無線機は通常の動作に戻ります。

ホーム復帰メモリーチャンネル (1&2) を起動する

ホーム復帰メモリーチャンネル機能によって、一回のボタン操作で希望するチャンネルのうち最高2チャンネルまで同時に復帰することができます。

ホーム復帰メモリーチャンネル1用に設定されたボタン、またはホーム復帰メモリーチャンネル2用に設定されたボタンを押します。

メモリーチャンネル (1&2) を設定する

メモリーチャンネル (1&2) 登録機能によって、ホーム復帰メモリーチャンネル機能用のチャンネルを記憶することができます。

チャンネル切替スイッチを回して希望のチャンネルを選択します。メモリーチャンネル1用に設定されたボタン、またはメモリーチャンネル2のボタンを押してチャンネルを記憶します。

35

VOX機能を使う

ハンズフリー操作をおこなう場合、無線機に接続されているVOXヘッドセットを通して、VOX機能により音声だけで無線機から送信をおこなうことができます。

VOXヘッドセットを接続する

- 1 無線機の電源をオフします。
- 2 VOXヘッドセットを無線機に接続して無線機の電源をオンします。
- 3 VOX機能用に設定されたボタンを押して、VOX機能を有効または無効にします。注1)
— または —
販売店がVOX機能用に設定したチャンネルを選択し、VOX機能を有効にします。注2)
注1) 無線機本体の送信 (PTT) ボタンを押すと、VOX機能は無効になります。
注2) VOX機能ボタンを押す必要はありません。
VOX機能用に設定されたチャンネル以外のチャンネルを選択してVOX機能を無効にします。

36

ヘッドセットフィードバックトーンを有効または無効にする

ヘッドセットを通して送信中の自分の音声が増えるように、お買い求めの販売店で使用する無線機を設定することができます。

— VOXヘッドセット —

- 1 無線機の電源をオフします。
- 2 VOXヘッドセットを無線機に接続します。
- 3 無線機の電源をオンします。送信中、フィードバックトーンが有効になりヘッドセットから自分の音声が増えます。
- 4 ヘッドセットのフィードバックトーンを無効にする場合、無線機の電源をオフしてもう一度オンします。

— インラインPTT付きヘッドセット (VOX機能なし) を接続する —

- 1 無線機の電源をオフします。
- 2 インラインPTT付きヘッドセットを無線機に接続します。
- 3 ヘッドセットのインラインPTTボタンを押したままにします。
- 4 無線機の電源をオンします。無線機が完全に立ち上がった後送信 (PTT) ボタンを離します。送信中、フィードバックトーンが有効になりヘッドセットから自分の音声が増えます。
- 5 ヘッドセットのフィードバックトーンを無効にする場合、無線機の電源をオフしてもう一度オンします。

キーパッドのロックとロック解除

キーパッドのロック・ロック解除用に設定されたボタンを長押しすると、キーパッドはロックまたはロック解除されます。

注 無線機ロック中は  が表示されます。

37

38

無線機の各種呼出し 一般

個別呼び出しを受信する

個別呼び出しを受信した場合：

- ・表示部に "↓" が表示されあらかじめ設定された送信側無線機の名称と個別番号が表示されます。
- ・黄色のLEDが点滅します（販売店によって設定済みの場合）。
- ・ハイピッチトーンが2回聞こえます。（ビビッ）

- 1 応答する場合、送信（PTT）ボタンを押して話します。
- 2 送信（PTT）ボタンを押したまま話し、または送信（PTT）ボタンを離して音声を受けます。

個別呼び出しを送信する

お買い求めの販売店で設定した指定無線機または無線グループに個別呼び出しを送信することができます。

あらかじめ設定された個別呼び出しボタンを押して、ステップ4へ進みます。

—または—

- 1 (P2) ボタンを押してメニューモードに入ります。
- 2  または  ボタンを、**RFD CALL** が表示されるまで押しつづけます。

39

鳴音呼び出しを受信する

鳴音呼び出しを受信した場合：

- ・表示部に "♪" が表示されあらかじめ設定された送信側無線機の名称と個別番号が表示されます。
- ・黄色のLEDが点滅します（販売店によって設定済みの場合）。
- ・ハイピッチトーンが4回聞こえます。（ビビビビッ）

応答する場合、送信（PTT）ボタンを押して話します。呼出しをキャンセルする場合、送信（PTT）ボタン以外のボタンを押します。

鳴音呼び出しを送信する

鳴音呼び出しを他の無線機に送信することができます。

あらかじめ設定された鳴音呼び出しボタンを押して、ステップ4へ進みます。

—または—

- 1 (P2) ボタンを押してメニューモードに入ります。
- 2  または  ボタンを、**RFD CALL** が表示されるまで押しつづけます。
- 3 (P2) ボタンを押して、**RFD CALL** を選択します。

41

- 3 (P2) ボタンを押して、**RFD CALL** を選択します。
- 4  または  ボタンを、**SEL CALL** が表示されるまで押しつづけます。
- 5 (P2) ボタンを押すと登録されているコールリストが表示されます。
- 6  または  ボタンを押して、コールリストから希望のコールIDを見つけます。
- 7 送信（PTT）ボタンを押して送信します。
- 8 送信（PTT）ボタンを押したまま話し、または送信（PTT）ボタンを離して音声を受けます。
- 9 終話するとき、メニューモードが終了するまで (P1) ボタンを押しつづけます。

40

- 4  または  ボタンを、**CALL ALT** が表示されるまで押しつづけます。
- 5 (P2) ボタンを押すと登録されているコールリストが表示されます。
- 6  または  ボタンを押して、コールリストから希望のコールIDを見つけます。
- 7 送信（PTT）ボタンを押して送信します。
- 8 送信（PTT）ボタンを押したまま話し、または送信（PTT）ボタンを離して音声を受けます。
- 9 呼出しを終了するとき、メニューモードが終了するまで (P1) ボタンを押しつづけます。

42

無線機の各種呼出し（簡易グループコードを使用）

全ての無線機は予め販売店にて設定された個別番号を持っています。販売店にて、無線機の「簡易グループコード」が無効と設定された場合には、無線機は単に音声の通信のみとなります。

補足 ここから説明する機能「個別呼び出し」、「鳴音呼び出し」は、この「簡易グループコード」が有効と設定された場合の説明です。

個別呼び出しを受信する

個別呼び出しを受信したとき、

- ・ディスプレイは、**CALL REC** の表示の後に♪と呼び出しをした無線機の個別番号が表示されます。
- ・表示ランプは黄色で点滅します。（プログラムで、表示ランプの設定がされている場合）
- ・受信時には、2回のハイピッチトーンが鳴ります。（ビビッ）

送信（PTT）ボタンを押して呼び出しに応答します。

一斉呼び出しを受信する

一斉呼び出しを受信したとき、

- ・ディスプレイは、**FLT CALL** の表示をします。

送信（PTT）ボタンを押して呼び出しに応答します。

43

鳴音呼び出しを受信する

鳴音呼び出しを受信したとき、

- ・ディスプレイは、**CALL REC** の表示の後に♪と呼び出しをした無線機の個別番号が表示されます。
- ・表示ランプは黄色で点滅します。（プログラムで、表示ランプの設定がされている場合）
- ・受信時には、4回のハイピッチトーン（ビビビビッ）が鳴ります。（ハイピッチトーンは応答するまで、または5回まで継続します。）

送信（PTT）ボタンを押して呼び出しに応答します。（いずれかのボタンを押すと呼び出し音は解除されます。）

44

スキャンを使う **一般**

ご使用の無線機に搭載されているスキャン機能を使って、複数のチャンネルの音声モニターすることができます。お買い求めの販売店にて、チャンネル別のスキャンリストを設定します。スキャンリストに設定されているチャンネル上で受信電波を検出すると、無線機は自動的にそのチャンネルに切り換わります。無線機のメニューからスキャンリストを編集することもできます。

- ・スキャン動作中は、緑のLEDが点滅します。無線機が受信しているチャンネルに切り換わると、LEDの点滅は止まります。
- ・スキャン動作中は、**Z** が表示されます。

ご使用の無線機では、2種類のスキャン機能が利用できます。

- ・システムスキャン
- ・オートスキャン

応答する

スキャン動作中に通路に反応することができます。無線機は、スキャン中にチャンネル上で通信を検出すると、一定時間（ハングタイム）そのチャンネルで止まります。このハングタイム中に、送信（PTT）ボタンを押して応答することができます。

注意 無線機がハングタイムにある間、スキャンを示すLEDインジケータは点滅しません。ハングタイムが過ぎても送信（PTT）ボタンを押さなかった場合に、無線機はスキャンを再開します。

45

システムスキャンを開始する **Z**

スキャン用に設定されたボタンを押してシステムスキャンを開始します。

—または—

- 1** スキャンリストが設定されているチャンネルを選択します。
- 2** **(P2)** ボタンを押してメニューモードに入ります。
- 3** **(▲)** または **(▼)** ボタンを、**SYS SCRN** が表示されるまで押しつづけます。
- 4** **(P2)** ボタンを押して、**SYS SCRN** を選択します。現在のスキャン状態が表示されます。
- 5** **(▲)** または **(▼)** ボタンを、**SCRN ON** が表示されるまで押しつづけます。
- 6** **(P2)** ボタンを押して、現在の設定を選択します。

46

システムスキャンを停止する

スキャン用に設定されたボタンを押してシステムスキャンを停止します。
—または—

- ①  ボタンを押してメニューモードに入ります。
- ②  または  ボタンを、**SYS SCAN** が表示されるまで押しつづけます。
- ③  ボタンを押して、**SYS SCAN** を選択します。
現在のスキャン状態が表示されます。
- ④  または  ボタンを、**SCAN OFF** が表示されるまで押しつづけます。
- ⑤  ボタンを押して、現在の設定を選択します。
・表示部から、 の表示が消えます。

【注意】 システムスキャンを終了するときは、最後に音声が出されたチャンネルまたはスキャン開始時のチャンネルに無線機を自動的に復帰させるように、お買い求めの販売店に依頼して設定することができます。

47

削除したチャンネルをスキャンリストに戻す

- ① 無線機の電源をオフしてからもう一度オンすると、一旦削除された不要チャンネルはスキャンリストに戻されます。
—または—
- ① スキャン用に設定されたボタンを押してスキャンを停止します。
- ② もう一度スキャンボタンを押してスキャンを開始すると、一旦削除された不要チャンネルはスキャンリストに戻されます。
—または—
- ① スキャンリストが設定されていないチャンネルを選択すると、スキャンは停止します。再度元のチャンネルに戻ると、一旦削除された不要チャンネルはスキャンリストに戻されます。

49

オートスキャンを開始する

オートスキャン機能が有効になっているチャンネルを選択すると、自動的にスキャンが開始します。
お買い求めの販売店が設定したオートスキャン用のチャンネルを選択します。

オートスキャンを停止する

お買い求めの販売店が設定したオートスキャン用チャンネル以外のチャンネルを選択します。
・表示部から、 の表示が消えます。

不要チャンネルを削除する

【注意】 この機能を使用するには、お買い求めの販売店にて、不要チャンネル削除用のボタンを設定する必要があります。
スキャンリストに登録されているチャンネルが不要な呼出しまたはノイズ（不要チャンネル）を受信しつづける場合、そのチャンネルを一時的にスキャンリストから外すことができます。

- ① 無線機が不要チャンネルに停止している間に、不要チャンネル削除用に設定されたボタンをトーンが聞こえるまで押しつづけます。
- ② 不要チャンネル削除ボタンを離すと、不要チャンネルは削除されます。
【注意】 スキャン用に設定されたチャンネル、優先チャンネルやスキャンリストに残る最後のチャンネルを一時的に削除することはできません。

48

スキャンリストを編集する

ご使用の無線機は、最大16件までのスキャンリストの設定が可能です。それぞれのスキャンリストは、最大16チャンネルまで設定することができます。同じチャンネルを複数のスキャンリストに登録したり、同じスキャンリストを複数のチャンネルに設定したりすることも可能です。チャンネル別のスキャンリストは、お買い求めの販売店で設定されます。チャンネルを追加・削除する場合や、チャンネルに優先順位を設定する場合に、スキャンリストを編集します。

【注意】 スキャンリストの編集時、無線機は受信することができません。

チャンネルを追加または削除する

- ① 編集したいスキャンリストが設定されているチャンネルを選択します。
- ②  ボタンを押してメニューモードに入ります。
- ③  または  ボタンを、**PRG LST** が表示されるまで押しつづけます。
- ④  ボタンを押して、**PRG LST** を選択します。

50

5  または  ボタンを、**SCAN LST** が表示されるまで押しつづけます。

④ 1チャンネルにつき1件のスキャンリストのみ使用できます。

6  ボタンを押して、**SCAN LST** を選択します。

7  または  ボタンを、**ADD ITEM** または **DELETE** が表示されるまで押しつづけます。

8  ボタンを押して、現在の設定を選択します。

9  または  ボタンを、追加または削除したいチャンネルが表示されるまで押しつづけます。

10  ボタンを押して選択を確定します。

11 チャンネルを追加した場合は、**ADDED** が表示されます。
—または—
チャンネルを削除する場合は、**DELETED** が表示されます。

51

12  ボタンを押して、削除を確定します。表示部には、**DELETED** が表示されます。

13  ボタンを押して **ADD ITEM** または **DELETE** の表示に戻ります。

14 メニューモードが終了するまで  ボタンを押しつづけます。

52

チャンネルに優先順位を設定する

他のチャンネルより頻繁にスキャンしたいチャンネルに優先順位を設定することができます。

優先チャンネル	スキャンの順番
指定なし	Ch1→Ch2→Ch3→Ch4→...Ch1
チャンネル2 (優先順位1)	Ch2→Ch1→Ch2→Ch3→Ch2→Ch4→Ch2→...Ch1
チャンネル2 (優先順位1) およびチャンネル8 (優先順位2)	Ch2→Ch1→Ch8→Ch3→Ch2→Ch4→Ch8→...Ch1

④ 非優先チャンネルの受信中に優先チャンネルが受信した場合、無線機は自動的にその優先チャンネルに切り換わり同時に、短いトーンを鳴らします。

優先チャンネルを設定する

④ 複数のチャンネルに同じ優先順位を設定することはできません。

1  ボタンを押してメニューモードに入ります。

2  または  ボタンを、**PRIO LST** が表示されるまで押しつづけます。

3  ボタンを押して、**PRIO LST** を選択します。

4  または  ボタンを、**SCAN LST** が表示されるまで押しつづけます。

53

5  ボタンを押して、**SCAN LST** を選択します。

6  または  ボタンを、**EDIT PRI** が表示されるまで押しつづけます。

7  ボタンを押して、**EDIT PRI** を選択します。

8  または  ボタンを、**PRI #1** または **PRI #2** が表示されるまで押しつづけます。

9  ボタンを押して設定したい優先順位を選択します。
現在の優先チャンネルが表示されます。

10  または  ボタンを、優先したいチャンネルが表示されるまで押しつづけます。

11  ボタンを押してチャンネルに優先順位を設定します。
SAVED が表示されます。

54

13 (P1) ボタンを押して **EDIT FFR** の表示に戻ります。

14 メニューモードが終了するまで (P1) ボタンを押しつづけます。

55

8 メニューモードが終了するまで (P1) ボタンを押しつづけます。

トーンの設定

機能	動作	設定
アラートトーン	すべてのアラートトーンをオンまたはオフします。	ON OFF
キーバッドトーン	キーバッドトーンをオンまたはオフします。	ON OFF
アラートトーンの指定	特定の種類の無線呼出しに対して特定の呼出音を設定します。	STANDARD ALERT 1-7
エスカレートアラート	無線呼出しに対して応答がない場合にアラートトーンのボリュームを大きくします。	ON OFF

57

アラートトーンを設定する

無線機のメニューからユーザー設定にアクセスして、ご使用の無線機のアラートトーンを変更することができます。

- 1 (P2) ボタンを押してメニューモードに入ります。
- 2  または  ボタンを、**TONES** が表示されるまで押しつづけます。
- 3 (P2) ボタンを押して、**TONES** を選択します。
- 4  または  ボタンを、変更したい機能が表示されるまで押しつづけます。
- 5 (P2) ボタンを押して変更したい機能を選択します。選択した機能の現在の設定が表示されます。
- 6  または  ボタンを押して利用可能な設定がスクロールできます。
- 7 (P2) ボタンを押して希望の設定を選択します。

56

アラートトーンのオン/オフ

ご使用の無線機のアラートトーンをすべてオンまたはオフすることができます。

- 1 (P2) ボタンを押してメニューモードに入ります。
- 2  または  ボタンを、**TONES** が表示されるまで押しつづけます。
- 3 (P2) ボタンを押して、**TONES** を選択します。
- 4  または  ボタンを、**TOPE** が表示されるまで押しつづけます。
- 5 (P2) ボタンを押して、**TOPE** を選択します。
- 6  または  ボタンを押して **ON** または **OFF** が表示されるまで押しつづけます。
- 7 (P2) ボタンを押して希望の設定を選択します。

58

キーパッドトーンのオン/オフ

ご使用の無線機のキーパッドトーンをすべてオンまたはオフすることができます。

注意 プログラムボタン (P1、P2) およびサイドボタン1と2のトーンをオフすることはできません。

- 1 P2 ボタンを押してメニューモードに入ります。
- 2  または  ボタンを、**TONES** が表示されるまで押しつづけます。
- 3 P2 ボタンを押して、**TONES** を選択します。
- 4  または  ボタンを、**KPD TONE** が表示されるまで押しつづけます。
- 5 P2 ボタンを押して、**KPD TONE** を選択します。
- 6  または  ボタンを、**ON** または **OFF** が表示されるまで押しつづけます。
- 7 P2 ボタンを押して希望の設定を選択します。

59

アラートトーンの指定

個別呼出しや確立呼出しを受信したときに、指定のアラートトーンを鳴らすように無線機を設定することができます。

注意 リストから7種類のアラートトーンが選択できます。

- 1 P2 ボタンを押してメニューモードに入ります。
- 2  または  ボタンを、**TONES** が表示されるまで押しつづけます。
- 3 P2 ボタンを押して、**TONES** を選択します。
- 4  または  ボタンを、**TONE TAG** が表示されるまで押しつづけます。
- 5 P2 ボタンを押して、**TONE TAG** を選択します。
- 6  または  ボタンを押して **CALL ALT** または **SEL CALL** が表示されるまで押しつづけます。
- 7 P2 ボタンを押して希望の設定を選択します。

60

- 8  または  ボタンを、この種類の呼出しに使用したいトーンが聞こえるまで押しつづけます。
- 9 P2 ボタンを押して希望の設定を選択します。
TONE SET が表示されます。
- 10 P1 ボタンを押して **TONE TAG** の表示に戻ります。
- 11 メニューモードが終了するまで P1 ボタンを押しつづけます。

61

エスカレートアラートを使う

無線呼出しに対して応答がない場合にアラートトーンのパリウムを大きくするように、ご使用の無線機を設定することができます。あらかじめ設定されエスカレートアラートボタンを押してステップ6へ進みます。

—または—

- 1 P2 ボタンを押してメニューモードに入ります。
- 2  または  ボタンを、**TONES** が表示されるまで押しつづけます。
- 3 P2 ボタンを押して、**TONES** を選択します。
- 4  または  ボタンを、**ESCALERT** が表示されるまで押しつづけます。
- 5 P2 ボタンを押して、**ESCALERT** を選択します。
- 6  または  ボタンを押して **ON** または **OFF** が表示されるまで押しつづけます。
- 7 P2 ボタンを押して希望の設定を選択します。

62

ユーザー設定を行なう

ご使用の無線機のメニューからユーザー設定にアクセスして、無線機の機能を変更することができます。

- 1 ② ボタンを押してメニューモードに入ります。
- 2 ④ または ⑤ ボタンを、 **UTILITY** が表示されるまで押しつづけます。
- 3 ② ボタンを押して、 **UTILITY** を選択します。
- 4 ④ または ⑤ ボタンを、変更したい機能が表示されるまで押しつづけます。
- 5 ② ボタンを押して、変更したい機能を選択します。選択した機能の現在の設定が表示されます。
- 6 ④ または ⑤ ボタンを押して利用可能な設定を表示します。
- 7 ② ボタンを押して希望の設定を選択します。

63

ユーティリティ機能

機 能	動 作	設 定
スケルチ	無線機のスケルチを深いレベルまたは標準レベルに変更します。	TIGHT (深い) NORMAL (深い)
出力レベル	無線機の出力レベルをハイまたはローに変更します。	HIGH LOW
バックライト	キーボードおよび表示部のバックライトをオンまたはオフします。	ON OFF
ソフトウェア	無線機のソフトウェアバージョンを表示します。	XX'XX'XX

スケルチレベルを設定する

スケルチ機能を使って無関係な（不要な）呼出しやバックグラウンドノイズを取り除くことができます。ただし、スケルチを深いレベルに設定すると、通話地からの呼出しも同じように排除される可能性があります。このような場合、スケルチを標準レベルに設定することをお勧めします。スケルチレベル選択用に設定されたボタン（16ページを参照）を押して、スケルチの設定を深いレベルまたは標準レベルに切り換えます。

—または—

- 1 ② ボタンを押してメニューモードに入ります。
- 2 ④ または ⑤ ボタンを、 **UTILITY** が表示されるまで押しつづけます。
- 3 ② ボタンを押して、 **UTILITY** を選択します。

64

- 4 ④ または ⑤ ボタンを、 **SQUELCH** が表示されるまで押しつづけます。
- 5 ② ボタンを押して、 **SQUELCH** を選択します。
- 6 ④ または ⑤ ボタンを押して **NORMAL** または **TIGHT** が表示されるまで押しつづけます。
- 7 ② ボタンを押して現在の設定を選択します。

65

出力レベルを設定する

ご使用の無線機に設定されているチャンネルごとに送信出力を変更することができます。

- ・ ハイパワー(H)はより遠い地点の無線機に届くことができます。
- ・ ローパワー(L)はバッテリーを節約します。
- ・ ハイパワーまたはローパワーを選択すると、HまたはLが表示されます。
- ・ 出力レベル選択用に設定されたボタンを押して、ハイパワーまたはローパワーに切り替えます。

—または—

- 1 ② ボタンを押してメニューモードに入ります。
- 2 ④ または ⑤ ボタンを、 **UTILITY** が表示されるまで押しつづけます。
- 3 ② ボタンを押して、 **UTILITY** を選択します。
- 4 ④ または ⑤ ボタンを、 **PWR LVL** が表示されるまで押しつづけます。
- 5 ② ボタンを押して、 **PWR LVL** を選択します。

66

⑥ ▲または▼ ボタンを押して **HIGH** または **LOW** が表示されるまで押しつづけます。

⑦ **P2** ボタンを押して現在の設定を選択します。

注意 出力レベルの選択を行なう場合は、それぞれの出力の免許が必要となります。

67

バックライトのオン/オフを設定する

キーボードおよび表示部のバックライトをオンまたはオフします。

① **P2** ボタンを押してメニューモードに入ります。

② ▲または▼ ボタンを、**UTILITY** が表示されるまで押しつづけます。

③ **P2** ボタンを押して、**UTILITY** を選択します。

④ ▲または▼ ボタンを、**LIGHT** が表示されるまで押しつづけます。

⑤ **P2** ボタンを押して、**LIGHT** を選択します。

⑥ ▲または▼ ボタンを押して **ON** または **OFF** が表示されるまで押しつづけます。

⑦ **P2** ボタンを押して現在の設定を選択します。

68

音声品質向上機能

コンバンディング

この機能は、送信時に音声を圧縮し、また受信時には音声を増強して同時に無関係なノイズを削減する機能です。ただし、すべての無線機でコンバンディング機能が設定されている場合のみ利用することができます。

ソフトウェアバージョンを表示する

ご使用の無線機のソフトウェアバージョンを表示します。

① **P2** ボタンを押してメニューモードに入ります。

② ▲または▼ ボタンを、**UTILITY** が表示されるまで押しつづけます。

③ **P2** ボタンを押して、**UTILITY** を選択します。

④ ▲または▼ ボタンを、**SOFTWARE** が表示されるまで押しつづけます。

⑤ **P2** ボタンを押して、ソフトウェアバージョンを確認します。

⑥ メニューモードが終了するまで **P2** ボタンを押しつづけます。

69

70

アフターサービスについて

Memo

無線機は定期的に、お買い上げの販売店で点検されることをおすすめします。

(1) 保証期間について

(i) 無線機本体

保証期間は、お客様が運用を開始された日より2年間です。正常なご使用状態でこの期間内に万一故障が生じた場合には、お手数ですが、お買い上げの販売店へご連絡ください。当社修理規定に基づき、無償で修理いたします。

(ii) バッテリー

保証期間は、お客様が運用を開始された日より1年間です。正常なご使用状態でこの期間内に万一故障が生じた場合には、お手数ですが、お買い上げの販売店へご連絡ください。無償で交換をいたします。なお、交換品の保証期間は、交換時期に関係なく、最初のお買い上げより1年間が無償保証期間となります。

(2) 保証期間経過後の修理

お買い上げの販売店にて修理（有料）いたしますのでご相談ください。

お買い求めの販売店をご記入ください。
お客様が保証を受けになる重要な窓口です。必ずご記入ください。

ご購入日 年 月 日

製品およびアクセサリ等についてはお買い求めの販売店にお問い合わせください。

Memo



お問い合わせ先

国内営業部 モトローラ製品.....03-3718-2231
ホームページ.....<http://motorola-bizunit.jp>

仕様が変更のため、予告なしに変更することがあります。

モトローラ、MOTOROLA、モトローラのロゴマーク及び商標が付された製品は米国およびその他の国におけるMotorola, Inc.の商標です。文中に記載されている他社の商標やサービス名等は、各社の商標または登録商標です。
本刊物は「外国為替及び外匯管理法」（日本）及び「外匯管理法（第26条）」による規制を受けますので、当会社を転売する場合は、厳禁に努めてください。



販売元 株式会社バーテックススタンダード 東京都墨田区中目黒4-8-8



8804113J81-R

©2004, 2010 by VERTEX STANDARD Co., Ltd.

